

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立野村高等学校

評価実施日		令和2年 2月 25日(火)	
委員	氏名		備考
	酒井 康次	保護者代表	PTA監事
	谷本 英樹	地域代表	タニヤ店主
	土居 眞二	同窓生	野村支所支所長
	岩本 数明	城川中学校	教 頭
	小川 英志	野村中学校	教 頭
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等	
今年度の最終評価について (1) 学習指導 ・ 個に応じた類型・科目の選択や分かる授業の実践がなされている。今後も個に応じた特色ある学習指導で学力の向上に努めてほしい。 ・ 高校に十分耐えられる生徒を育てさらなる飛躍をさせようと中学校でも厳しく指導している。 ・ 進学率について保護者から見て魅力的な状態を作り出してほしい。また、学校の地力も見られる部分なので一層の工夫をお願いしたい。 ・ 学習の評価結果において微増ではあるが前年度より数値が高くなっている。		今後も、生徒一人ひとりを大切に、きめ細かな学習指導を心がけていきたい。	
(2) 生徒指導 ・ 学校評価では、生徒、保護者、教職員ともに高い数値であり、適切な指導がなされていることが分かる。日頃生徒に出会っても、とても礼儀正しく、身だしなみも整っており、気持ちのよい生徒ばかりであると感じている。 ・ 通学路の道すじから挨拶をするがしっかり返ってくる。素朴で地域の学校の生徒らしく好感が持てる。これは地域と学校の関係がうまくいっており、指導が行き届いている結果である。		あいさつについて、「自分からする」ということを心掛けさせ、さらに地域の方々や、校内外に、明るく元気な野村高校生を発信していきたい。	
評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等	
(3) 進路指導 ・ 保護者の評価が少し低い。やはり、中学校から見ても進路実績は気になる場所であり、中学校とその保護者にとっても高校選択の一つの材料である。学習指導と合わせ、更に実のある進路指導に努めてほしい。 ・ あと少し努力すれば達成できることもある。そこを支援・助言していただくありがたい。 ・ 人材不足の労働環境の中、進路については社会情勢等を含んだ情報の収集、処理能力の向上も求められる。この事は時代によって目まぐるしく変化するので学校全体で分析して方向を見極めてほしい。 ・ 国公立大学への合格率が少し低くなっているため、今後の対策を考えほしい。		・ 生徒と保護者と担任、進路課がより綿密に連携し合いながら、進めていきたい。 ・ 南予の高校が定員割れとなる中で、成績上位層の生徒が、周りの進学校に流れている現状、遠くの地方国公立大学よりは、近くの私立大学を希望する生徒、保護者が多くなっていることを考えれば、国公立大学進学者が今後伸びるとは考えにくい。また、地元の愛媛大学等は入試制度の改革の迷走、首都圏の私立大学入学定員の厳格化等により、難化している。無理な指導はできないところをご理解願いたい。	

<p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある部活動や学校行事などの取組がなされている。教職員、生徒、保護者が一体となって学校や地域を盛り上げていこうとする活動が魅力的である。 ・少ない人数の中、各部活動の成果を上がっている。 	<p>小人数ではあるが、特徴ある部活動を展開していきたい。また、中高での合同練習会を増やすとともに、中学生体験入学などを通して、本校の部活動の状況や実績を積極的に紹介していきたい。</p>
<p>(5) PTA活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした学校だけに関係者の関わりは良好な状況で取り組まれている。生徒、保護者の数が減少していることより、無理のない活動から進めてほしい。 ・保護者はとても協力的であり、高校と保護者との連携も密になり、教育活動を陰で支えてもらっている。 	<p>PTA総会などのPTA行事に関心を持ってもらえるよう、ホームページやPTA会報などの広報活動を工夫していきたい。</p>
<p>(6) 人権・同和教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価は全体的に高く、人権・同和教育への熱心な取組が伝わってくる。人権意識の更なる高揚に努めてほしい。 ・いじめ問題、人権・同和教育とも数学的な結果よりも問題として表面化していないことが重要である。組織の中で存在する上で、どうしても発生することでもあり理性と知性で理解し対応できている。 ・人権のつどい野村会場の開催では、学校行事を変更していただきありがたかった。生徒の心にも響いた講演であり、すばらしい。 	<p>今後も地域との連携を深め、本校での人権・同和教育をさらに充実させていきたい。人権の集いや日だまり研修会等の地域での行事に生徒の参加を呼びかけていきたい。</p>
<p>(7) 情報教育・読書教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページも読みやすい親しみのあるものになっている。生徒たちが作成した「疲れたら愛媛」野村高校バージョンPR動画も地域に根ざした内容に仕上がっている。 ・インターネットの適切な活用については、中学校でも課題になっている。高校の取組も参考にさせてほしい。 ・読書指導については、図書館の蔵書の充実や利用しやすい環境の整備が評価に表れている。 	<p>ホームページについては、タイムリーで読みやすい更新、個人情報管理の適切な管理運営に努めていきたい。</p> <p>読書指導については、話題の書籍や生徒にとって興味ある書籍などを充実させ、図書館の利用促進を図りたい。</p>
<p>(8) 環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ訪問してもきれいに整えられた校内環境から、環境整備に対する意識の高さを感じる。健康安全の指導や研修も適切に行われている。 ・いつも校内環境がきちんと整備されており、訪れた者にとっても、校内で一日を過ごす生徒たちにとっても癒しを感じる快適な環境となっている。 	<p>生徒が安全・安心で快適な学校生活を送ることができるよう、今後も日々環境整備に心掛けていきたい。</p>
<p>(9) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年の地域貢献が評価された農業クラブ活動の「南海放送賞」の受賞、本当に素晴らしい結果である。他にも3校合同の市議との意見交換会、3校合同プロジェクトの実践報告会、市役所仕事始め式でのN-ジョイチャレンジ参加報告会など校外に向けての取組が目立ち、生徒たちの成長にもつながっている。 	<p>今後も関係機関と連携し、学校の存続と魅力ある学校経営に邁進したい。</p>